

＝ 日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2017.8.24 No.278

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

善福寺1丁目地域等で床下浸水、半地下浸水等の被害 8・19集中豪雨により浸水被害が発生



短時間で一気に道路が冠水し、60センチ程度の深さとなった。隣接小学校の通学路でもあり、危険な状況になっている。

8月19日(土)の短時間の局地的な集中豪雨により、杉並区内で、浸水被害・停電等、様々な被害が発生しました。局地的な集中豪雨が多発しており今後とも予断を許さない状況です。

杉並区西部で30分50mmの雨量 これまでの水害対策では足りず

活動担当地域の善福寺1丁目地域でも道路の冠水や床下浸水、半地下の浸水被害等が発生し、現場で排水ポンプ設置、土のう積み上げ等の緊急対応を行いました。

7月19日の集中豪雨では、善福寺川上流部・原寺分橋の地点別10分雨量が17時～30分間で50ミリの雨量を計測するなど、猛烈な豪雨となりました。10分雨量の最大値は28ミリの計測するなど、過去数年間で最大規模の豪雨となりました。

善福寺1丁目の水害多発地域では、この間も様々な対策工事が実施されていますが、対策を上回る豪雨により、浸水被害が発生することになりました。

さらなる対策が急務に

昨今、集中豪雨が頻発するなか、局地的な浸水被害多発地域では住民生活に深刻な影響を与えています。今回の集中豪雨でも車両の浸水、住居内の排水溝からの逆流、床下浸水、半地下浸水など、様々な被害が発生しています。

局地的に発生する水害は、都市型水害の典型例でもあり、人災と言えるものではありません。

各地の实情に応じたきめ細かな水害対策が急務です。間もなく始まる杉並区議会第三回定例会では、さらなる水害対策を求めます。



土のうを越える浸水になった。土のうの設置や小型排水ポンプの設置では対処しきれない状況となっている。

これまでの水害対策では不足

この間、議会質問等で水害対策を推進するよう求め続けてきました。善福寺1丁目地域でも排水管の増強や新たな排水ルートを設置等、様々な対策が実施されてきましたが、これらの対策でも不足している現状です。引き続き、さらなる対策を求めます。



新たな排水ルート設置のための工事が完了

外環道・大深度使用認可への1000名を超える異議申立

国交省 住民の異議申立を棄却・却下

住民無視の不当判断

7月25日から、外環道・大深度使用認可に対し、異議申立をした方のもとに国交省から回答「決定書」が届けられています。

2014年5月、外環道計画沿線地域の住民1000名以上が、住宅直下である大深度地下の使用を認める決定を不服とし、申し立てたものです。今回の国交省の回答では、全ての申し立ては「棄却」「却下」となっており、住民の切実な声を聴こうともしない国の姿勢に住民から怒りの声が広がっています。

異議申立から3年も経過するなか、その間も工事は着々と進められてきました。さらに、申立人の口頭意見陳述の機会等も不当に制限されるなど、国交省のずさんな手続きも重大な問題です。

9月3日(日)住民により「異議申立への回答を考える」勉強会も開催されます(下記参照)。

シールドトンネル工事 各地で事故が頻発：

8月20日(日)には、杉並区内の外環道計画沿線の3町会の有志により、外環シールドトンネル工事の安全性の問題点に関する学習会が行なわれました。

各地で行なわれているシールドトンネル工事では、地表面の陥没や出水事故等が相次いでおり、シールド工事の安全神話は崩壊しています。工事に起因する陥没も広範囲に亘る傾向があります。

住民が生活を送る住宅街の直下で危険な工事を進めることは許されません。

外環道・大深度使用認可への異議申立への

国交省回答は住民不在！

2014(平成26)年5月、1,000名を超える方々が東京外環道の大深度地下使用認可処分をした国土交通省へ異議申立をしました。ご協力いただいた皆さんに、改めてお礼を申し上げます。

約3年経過した今年7月25日以降、申立てた方へ国交省からの回答「決定書」が届きました。その内容は、すべて「棄却」か「却下」です。

そこで、「決定書」を読んだ方々の、国への思い、異論、反論などをお聞きしたいと考え、勉強会の機会を設けました。

先日の「シールド工事は本当に安全か」というテーマでの講演会に引き続きのご案内となりますが、国の外環道事業取り組み姿勢をしっかりと把握し、今後今後の取り組みをご一緒に議論したいと思います。

ご参加を、お待ちしております。

勉強会

「異議申立への回答を考える」

●基調報告:古川英夫代表、岡田光生氏

●意見交換会「外環道の今後を考える」

日時:2017年9月3日(日)午後1時半～

会場:西荻地域区民センター・第3集会室

参加費:無料 カンパにご協力ください

勉強会に関するお問い合わせは、下記をお願いします。

外環道検討委員会・杉並

代表:古川英夫・03-3394-0021 委員:大塚康高・090-1858-6665

3町会合同での取り組みに。近隣住民は大きな不安を抱えている。



今週の一コマ

水害の恐怖再び…

8月19日の豪雨時、妻の出産に備え自宅で待機しており、水害現場に直ちに駆けつけることができました(現場の様子はツイッターに動画で紹介)。現場では、既に道路が冠水…。一気に水位が上がり、60センチ程度の深さに。恐怖を感じました…。



現場は、私の息子が通う小学校通学路でもあり、児童の登下校等と重なった場合は大変なことです。さらなる緊急対策を求めます。